

航 空 自 衛 隊 仕 様 書			
仕様書の 種 類	内容による分類	装 備 品 等 仕 様 書	
	性質による分類	個 別 仕 様 書	
物品番号		仕 様 書 番 号	
品 名 又は 件 名	新型耐寒・耐水服	C & L P S - I 8 4 0 9 1 - 5	
		大臣承認	平成 年 月 日
		作成	平成 2 4 年 9 月 2 5 日
		改正	令和 2 年 4 月 3 日
			令和 4 年 5 月 2 6 日
作成部隊等名	補 給 本 部		

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊の航空機搭乗員が寒冷時に水上遭難した場合に、防風、防水、防寒及び火災に対して防護性能を有し、保命の効果を上げるために使用する新型耐寒・耐水服について規定するものである。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C & L P S - Y 0 0 0 0 7 の 1.2 による。

1.3 構成

構成は、表 1 による。

表 1 - 構成 ^{a)}

番号	名 称	数量	単位	注 記
1	本体	1	E A	付図 1 を基準とする。
	首シール	1	E A	付図 2 を基準とする。
	手首シール	1	組	付図 3 を基準とする。
	防水ソックス	1	組	付図 4 を基準とする。
2	新型耐寒服	1	E A	付図 5 を基準とする。

注 ^{a)} 新型耐寒・耐水服 1 S E の構成を示したものである。

1.4 種類

種類は、次によるものとし、調達する種類及び数量は、調達要領指定書により指定する。

a) 新型耐水服は、表 2、表 3、表 4 及び表 5 のとおりとする。

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

表2－新型耐水服の種類

単位 cm

種類	物品番号
LW	8475-428-2316-5
LR	8475-428-2317-5
LN	8475-428-2318-5
MW	8475-428-2319-5
MRW	8475-428-2320-5
MR	8475-428-2321-5
MN	8475-428-2322-5
SW	8475-428-2323-5
SR	8475-428-2324-5
SN	8475-428-2325-5
SR (W) ^{a)}	_____
SN (W) ^{a)}	_____

注 ^{a)} (W) は女性用を示す。

表3－首シールの種類

単位 cm

種類	首回り
①	46.5
②	44.5
③	42.5
④	40.5
⑤	38.5
⑥	36.5
⑦	36.0

表4－手首シールの種類

単位 cm

種類	手首回り
A	19.2
B	18.2
C	17.2
D	16.2
E	15.2

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

表5－防水ソックス部の種類 単位 cm

種類	足
I	28
II	27
III	26
IV	25
V	24

b) 新型耐寒服は、表6のとおりとする。

表6－新型耐寒服の種類 単位 cm

種類	物品番号
LW	8475-428-2326-5
LR	8475-428-2327-5
LN	8475-428-2328-5
MW	8475-428-2329-5
MRW	8475-428-2330-5
MR	8475-428-2331-5
MN	8475-428-2332-5
SW	8475-428-2333-5
SR	8475-428-2334-5
SN	8475-428-2335-5
SR (W) ^{a)}	_____
SN (W) ^{a)}	_____

注^{a)} (W) は女性用を示す。

1.5 製品の呼び方

製品の呼び方は、名称及び種類を組み合わせる呼び方とする。

例 新型耐寒服, LW

新型耐水服, LW

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

1.6 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合は、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 規格

J I S	K	6 4 0 4 - 2	ゴム引布及びプラスチック引布試験方法—第2部：物理試験（基本）
J I S	L	0 8 4 2	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	0 8 4 4	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	0 8 4 8	汗に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	0 8 4 9	摩擦に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	1 0 9 1	繊維製品の燃焼性試験方法
J I S	L	1 0 9 2	繊維製品の防水性試験方法
J I S	L	1 0 9 4	織物及び編物の帯電性試験方法
J I S	L	1 0 9 6	織物及び編物の生地試験方法
J I S	L	1 0 9 7	合成繊維ふとんわた試験方法
J I S	L	1 0 9 9	繊維製品の透湿度試験方法
J I S	L	3 4 1 6	面ファスナ

b) 仕様書

D S P	Z	9 0 0 8	品質管理等共通仕様書
C & L P S	-	B 9 9 0 0 1	航空機用機器工具一般共通仕様書
C & L P S	-	I 8 4 0 6 4	耐G服 J G - 7
C & L P S	-	I 8 4 0 6 9	航空ヘルメット F H G - 2
C & L P S	-	I 8 4 0 8 8	高速脱出対応型航空ヘルメットセット
C & L P S	-	Y 0 0 0 0 7	調達品等一般共通仕様書

品 名	新型耐寒・耐水服
-----	----------

2 製品に関する要求

2.1 設計条件

設計条件は、次による。

a) 新型耐水服

- 1) 内部に新型耐寒服及びその他の下着等の着用を前提とする。
- 2) 耐水ジッパーは、横方向胴回りタイプ（着用口）及び縦ファスナ（小用口）とする。

なお、縦ファスナ（小用口）は、ファスナと**C&LPS-I84064**に示す耐G服 JG-7（以下，“耐G服”という。）との干渉を避けるためのカバーを設けるものとし、着座姿勢において用を足すのに支障がないものとする。
また、縦ファスナ（小用口）の位置は、付図1を基準とする。

- 3) 女性用は、女性が着脱及び用を足すのに支障がないものとし、横方向胴回りタイプ（着用口）及び横ファスナ（腹部）の耐水ジッパーを設けるものとする。
また、ファスナと耐G服との干渉を避けるためのカバーを設けるものとし、ファスナの位置は付図1Aを基準とする。
- 4) 首部及び手首部の防水は、シール構造によるものとし、足部の防水は、新型耐水服本体に接合した防水ソックスによるものとする。

なお、首シール及び手首シール部には、締め付け力を調整できる機能を持たせ、また防災用のカバー等を設けることとする。

- 5) 各部位は、操縦装置や他の救命装備品等と著しい干渉のない構造とすること。

b) 新型耐寒服

- 1) 新型耐寒服を着用した後、新型耐水服を着用する場合、新型耐寒服の脚部が上方によれることを防止できる構造とする。
- 2) 新型耐水服との干渉がなく、その機能及び運動性を妨げないものとする。
- 3) 女性用は、女性が着脱及び用を足すのに支障がないものとする。

2.2 材料・部品

材料及び部品は、表7によるほか**C&LPS-Y00007**の2.2による。

表7－材料・部品

名 称	規 定	用 途	
		新型耐水服	新型耐寒服
防水布（本体布用）	付表1による。	本体布	—————
フード用防水布	付表2による。	フード	—————

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

表7-材料・部品(続き)

名称	規定	用途	
		新型耐水服	新型耐寒服
平織布(新型耐水服用)	付表3による。	防水布(本体布用)表布・手首覆い布・耐炎性襟, 耐水ジッパーカバー	_____
耐水ジッパー	付表4による。	着用口・小用口腹部(女性用)	_____
3mmクロロプレ ンフォーム片面 トリコット	付表5による。	首シール・手首シール	_____
ゴム入りテープ	付表6による。	首シール調整バンド・手首シール調整バンド	_____
防水布(防水ソックス部用)	付表7による。	防水ソックス部	_____
防水布(本体布用)裏布	付表8による。	防水布(本体布用)裏布	_____
綾織布(新型耐寒服用)	付表9による。	_____	表布・胴締めバンド・手首締めバンド・足首締めバンド
ポリエステル綿	付表10による。	_____	中綿
ポリエステル・綿混紡布	付表11による。	_____	裏布
コイルファスナ	付表12による。	_____	ファスナー
メリヤス地	付表13による。	_____	ジャージ部(伸縮部)
面ファスナ	JIS L 3416を満足するものとする。	フード・耐炎性襟・首シール調整バンド・手首シール調整バンド	胸ポケット・手首締めバンド・胴締めバンド・足首締めバンド

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

2.3 製造・加工方法

製造及び加工方法は、次による。

2.3.1 裁断

新型耐水服及び新型耐寒服は、操縦時の着座姿勢に合わせた立体裁断とし、布目を正しく合わせ、縫い縮みを考慮して裁断し、裁断末端のほつれのおそれがある部分は、ほつれ止め加工をする。

2.3.2 縫製

縫製は、次による。

- a) 上下糸に、つれ及びたるみがなく縫い目長さ 25 mm における針数は、新型耐水服は 6～10 針、新型耐寒服は 9～12 針とする。
- b) 縫いつなぎは、25 mm 以上の重ね縫いとし、ほつれるおそれのある縫い始まり及び、縫い終わりは、13 mm 以上の返し縫いをする。
- c) 地縫いの縫い代は、7～10 mm とする。
- d) 端ミシンは、端から 1.5～3 mm、押さえミシンは、端から 3.5～6 mm とする。

2.3.3 目止め加工

目止め加工は、新型耐水服のみに行うものとし、次による。

- a) 本体布同士及び本体と防水ソックスの縫合部は、ホットメルトテープで目止め加工すること。
- b) その他の縫合部、貼り合わせ部及び接合部は、使用目的に合った接着剤及びシールテープを用いること。

2.4 構造・形状・寸法・質量

2.4.1 構造・形状・寸法

構造、形状及び寸法は、付図 1～9 を基準とし、細部は承認図面による。

2.4.2 質量

質量は、新型耐水服 2 kg 以下、新型耐寒服 1 kg 以下とする。

2.5 外観

外観は、きず、汚れなどの欠点が目立たないものとする。

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

2.6 性能

性能は、次による。


- 防水性** 新型耐水服内に水漏れが認められないこと。
- 高温貯蔵・低温貯蔵** 高温貯蔵及び低温貯蔵試験実施後、シールテープの剥がれ等の異状がないこと。また、新型耐水服については、高温貯蔵及び低温貯蔵試験実施後の防水性試験において、服内に水漏れが認められないこと。
- 適合性・運動性** 新型耐寒・耐水服及び耐G服を着用したとき、適合性を有すること。また、適合性試験実施後の運動性試験において、服の破れ、縫い糸切れ、綻び等の異状がないこと。

2.7 製品の表示

2.7.1 銘板

銘板は、**図1**によるものとし、黒色不滅インクで記入又はなつ印し、**付図1**及び**付図5**に示す位置に貼り付け又は縫着する。

単位 mm

航空自衛隊 		60
物品番号		
品名及び種類	例 新型耐寒服, LW	
納入年月	例 平成30年2月	
製造番号	例 01	
製造者	a)	
氏名		
80		

注記 寸法は、基準とする。

注^{a)} 製造者の名称又はその略号を記入する。

図1－銘板

2.7.2 契約不適合の修補等請求期限の表示

契約不適合の修補等請求期限の表示は、**C&LPS-Y00007**の**2.4.3**による。

2.8 品質管理

品質管理は、**DSP Z 9008**によるものとし、要求事項は、**DSP Z 9008**の表1のbによる。

3 品質保証

3.1 初回試験

契約の相手方は、**C&LPS-Y00007**の**3.1**により、次に示す初回試験を行うものとする。

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

3.1.1 試験項目・試験方法

試験項目及び試験方法は、表8のとおりとし、2.6を満たすものとする。

表8－試験項目・試験方法

項目	試験区分		試験方法
	初回試験	製品試験	
防水性	○	○	新型耐水服の中に付図9に示すパットフレームを挿入し耐水ジッパーを閉じ、手首シールを密封し、水深90 cmの水槽に斜めの姿勢で10分間浸漬する。浸漬後、服内の水漏れの有無を確認した後、パットフレームを取り出して、漏れによる水滴がないかを確認するものとする。
高温貯蔵 及び 低温貯蔵	○	—	新型耐寒・耐水服、フード及び手袋（ミトンタイプ・5本指タイプ）を71℃の環境下に4時間貯蔵後、室温下で24時間以上放置する。次に-51℃の環境下に48時間貯蔵後、室温下で24時間以上放置する。放置後、縮み、シールテープの剥がれ等の異常の有無を調べるものとする。また、新型耐水服については、防水性試験を実施する。
適合性 及び 運動性	○	—	通常の下着の上に新型耐寒・耐水服を着用し、以下の項目を調べるものとする。 a) 適合性 着用にあたり、無理なく新型耐寒・耐水服及び耐G服を着用できることを調べる。 b) 運動性 次の運動をした後、服の破れ、縫い糸切れ、綻び等の異常の有無を調べるものとする。 1) 通常の歩行、階段の昇降、前屈み及び膝の屈伸運動 2) 着席した状態での手の前方、上方及び左右への屈伸運動並びに旋回運動 3) 着席した状態での足踏み運動
<p>注記1 試験は、○印について行うものとする。</p> <p>注記2 この試験の環境条件は、次のとおりとする。</p> <p>a) 気温 25±10℃</p> <p>b) 気圧 94.8～108 kPa</p> <p>c) 相対湿度 80%以下</p>			

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

3.1.2 供試品数

任意サイズの完成品1SEとする。

3.1.3 初回試験用供試品

納入しないものとする。

なお、供試品については、契約の相手方にて処分するものとする。

3.2 製品試験

製品試験は、表8に示す項目について実施する。ただし、初回試験を実施した項目については初回試験の結果をもって、製品試験とすることができる。

3.3 監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、C&LPS-B99001の個装レベルC、外装レベルIIとする。

4.2 包装の表示

包装の表示は、C&LPS-B99001の3.1.2による。

5 その他の指示

5.1 提出書類

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.1により、次の書類を提出するものとする。

- a) 類別原資料
- b) 取扱説明書（技術指令書草案）

5.2 貸付品

貸付品は、C&LPS-Y00007の4.2に基づき、表9により無償で貸付けを受けることができる。

表9－貸付品

品名	数量及び単位	時期	貸付及び返納場所
耐G服 JG-7	1EA (任意のサイズ)	契約締結後	第4補給処 木更津支処

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

5.3 附属品

附属品は、表10、表11及び表12のとおりとする。

表10－附属品

品名	数量及び単位	備考
フード	1EA	付図6を基準とする。防水機能及び防風機能を有し、またフードの上からC&LPS-184069に示す航空ヘルメットFHG-2及びC&LPS-184088に示す高速脱出対応型航空ヘルメットをかぶることができるものとする。
手袋(ミトンタイプ)	1組	付図7を基準とする。5本指タイプの手袋を着用した状態で、その上に被せて着用できるものとする。また、防水性、保温性を有するとともに、手首を絞る機能を有するものとする。
手袋(5本指タイプ)	1組	付図8を基準とする。操作性に優れ、防水性及び手首を絞る機能を有するものとする。

表11－サイズ調整用附属部品

品名	本体接続種類 ^{a)}	附属品とする種類 ^{b)}	数量及び単位
首シール (調整バンド及びバンド通しを含む。) 付図2を基準とする。	①	②及び③	各1EA
	②	①及び③	
	③	②及び④	
	④	③及び⑤	
	⑤	④及び⑥	
	⑥	⑤及び⑦	
	⑦	⑤及び⑥	
手首シール (調整バンド及びバンド通しを含む。) 付図3を基準とする。	A	B及びC	各1組
	B	A及びC	
	C	B及びD	
	D	C及びE	
	E	C及びD	
防水ソックス 付図4を基準とする。	I	II及びIII	各1組
	II	I及びIII	
	III	II及びIV	
	IV	III及びV	
	V	III及びIV	

注^{a)} 調達要領指定書により示すサイズ。

注^{b)} 本体接続種類以外に、附属品として必要な物のサイズ。

品名	新型耐寒・耐水服
----	----------

表 1 2 - 補修用部品

品名	数量及び単位	注記
耐水ジッパー（着用口用）	1 E A	本体に装着されている耐水ジッパーと同一の物とする。
耐水ジッパー（小用口用）	1 E A	本体に装着されている耐水ジッパーと同一の物とする。
耐水ジッパー（腹部）	1 E A	本体に装着されている耐水ジッパーと同一の物とする。

5.4 承認用図面

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3により、次の承認用図面を作成の上、契約担当官等に提出し、承認を受けるものとする。

- a) 新型耐水服の詳細図
- b) 新型耐寒服の詳細図
- c) フードの詳細図
- d) 手袋（ミトンタイプ）及び手袋（5本指タイプ）の詳細図

5.5 装備品等不具合報告（UR）対策

装備品等不具合（UR）対策は、C&LPS-Y00007の4.4による。

5.6 技術変更提案（ECP）

技術変更提案（ECP）は、C&LPS-Y00007の4.7による。

付表１－防水布（本体布用）

区 分	規 定	
構 造	芳香族ポリアミド繊維，平織布を表布（付表３）とし，表布と裏布（付表８）の間に防水透湿素材をラミネート加工したもの。	
質 量	200 g/m ² 以上	J I S L 1 0 9 6のA法による。
引張強さ	たて	981 N/5 cm以上
	よこ	539 N/5 cm以上
引裂強さ	たて	37 N以上
	よこ	
耐水度（１）	200 cm以上	J I S L 1 0 9 2の静水圧法のA法による。
耐水度（２）	160 cm以上	手折り20回後，J I S L 1 0 9 2の静水圧法のA法による。
耐水度（３）	160 cm以上	手もみ200回後，J I S L 1 0 9 2の静水圧法のA法による。
はっ水度（表布）	3級以上	J I S L 1 0 9 2による。
透湿性	2 500 g/m ² /24h以上	J I S L 1 0 9 9のA-1法による。
色 相（表布）	セージグリーン	目視による。

付表２－フード用防水布

区 分	規 定	
構 造	細部は承認図面による。	
質 量	90 g/m ² 以上	J I S L 1 0 9 6のA法による。
耐水度	200 cm以上	J I S L 1 0 9 2の静水圧法のA法による。

付表3－平織布（新型耐水服用）

区 分		規 定	
構 造		芳香族ポリアミド繊維, 平織布	—
質 量		110 g/m ² 以上	J I S L 1 0 9 6のA法による。
引張強さ	たて	920 N/5 cm以上	J I S L 1 0 9 6のA法のラベル ドストリップ法による。
	よこ	637 N/5 cm以上	
引裂強さ	たて	45 N以上	J I S L 1 0 9 6のD法による。
	よこ	35 N以上	
燃 焼 性	残炎時間	2 秒以下	J I S L 1 0 9 1のA-4法による。
	残じん時間	10 秒以下	
	燃焼長さ	6.4 cm以下	
色 相		セージグリーン	目視による。
染 色 堅 ろ う 度	耐 光	3 級以上	J I S L 0 8 4 2の第3露光法による。
	洗 濯	4 級以上	J I S L 0 8 4 4のA-2号による。
	汗	4 級以上	J I S L 0 8 4 8による。
	摩擦（乾燥）	3 級以上	J I S L 0 8 4 9による。

付表4－耐水ジッパー

区 分	規 定	
耐水性	6.9 kPaの空気を加えた場合、チェーン側に空気漏れがないこと。	ジッパーのチェーン側に水深2～5 cmの水膜を作り、その反対側から6.9 kPaの空気圧を加え気泡により水漏れを確認する。ただし、気泡が認められた場合でも空気漏れが22 cc/秒以下の場合は、空気漏れとみなさない。
耐久性	1 000 回以上の開閉に耐えること。	ジッパーの開閉を1 000 回実施したのち耐水性を確認する。
低温性	-40 ℃の状態ですら9 6時間保持した後、耐水性の性能を満足すること。	-40 ℃の条件で9 6時間保持する。その後、常温に戻し耐水性を確認する。
注記 耐水ジッパーは、両止まりとする。		

付表5-3 3mmクロロプレンフォーム片面トリコット

区分	規定	
構造	厚さ3mm(基準)のクロロプレンフォームの片面にトリコット地を貼り合わせたもの。	_____
質量	900 g/m ² 以下	JIS K 6404-2による。
色相	黒	目視による。

付表6-ゴム入りテープ

区分	規定	
構造	芯糸に合成ゴムを使用した合成繊維テープ	_____

付表7-防水布(防水ソックス部用)

区分	規定		
構造	表布	ポリエステル	_____
	中素材	防水透湿素材	
	裏布	ナイロントリコット	
質量	230 g/m ² 以上	JIS L 1096のA法による。	
耐水度	200 cm以上	JIS L 1092の静水圧法のA法による。	
色相	セージグリーン	目視による。	

付表8-防水布(本体布用)裏布

区分	規定	
構造	ナイロントリコット	_____
色相	グレー	目視による。

付表 9－綾織布（新型耐寒服用）

区 分		規 定	
構 造		芳香族ポリアミド繊維，綾織布。ただし，たて方向に有機導電性繊維を混入した，たて糸を織り込むこと。	_____
質 量		80 g/m ² 以上	J I S L 1 0 9 6のA法による。
引張強さ	たて	549 N/5 cm以上	J I S L 1 0 9 6のA法のラベルドストリップ法による。
	よこ	490 N/5 cm以上	
摩擦帯電電荷量		7 μc/m ² 以下	J I S L 1 0 9 4による。
燃 焼 性	残炎時間	2 秒以下	J I S L 1 0 9 1のA-4法による。
	残じん時間	25 秒以下	
	燃焼長さ	6.4 cm以下	
色 相		セージグリーン	目視による。
染色堅ろう度	耐 光	4 級以上	J I S L 0 8 4 2の第3露光法による。
	洗 濯		J I S L 0 8 4 4のA-2号による。
	汗		J I S L 0 8 4 8による。

付表 10－ポリエステル綿

区 分		規 定	
構 造		ポリエステル（中空糸）綿	_____
質 量		40±5 g/m ²	J I S L 1 0 9 7による。

付表 11－ポリエステル・綿混紡布

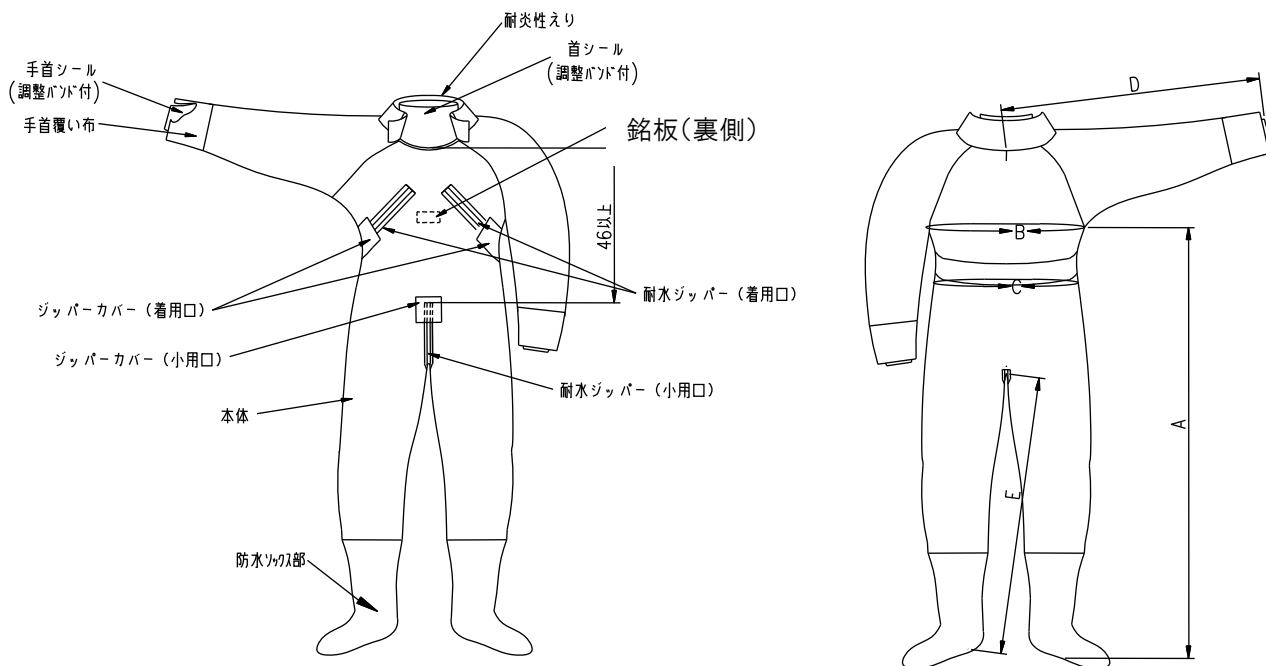
区 分		規 定	
構 造		超極細ポリエステル・綿混紡布	_____
質 量		96±6 g/m ²	J I S L 1 0 9 6のA法による。
色 相		ベージュ	目視による。

付表 1 2 - コイルファスナ

区分	規 定	
スライダ ー	4.5 mm自動ストップ付	_____
テープ	ポリエステル又はナイロン	_____
色 相	綾織布(新型耐寒服用)と同系色	目視による。

付表 1 3 - メリヤス地

区 分	規 定	
構 造	芳香族ポリアミド繊維製編物	_____
色 相	綾織布(新型耐寒服用)と同系色	目視による。



a) 正面

b) 背面

注記1 防水ソックス部は、新型耐水服本体と一体である。

注記2 耐炎性襟は、面ファスナで閉鎖する。

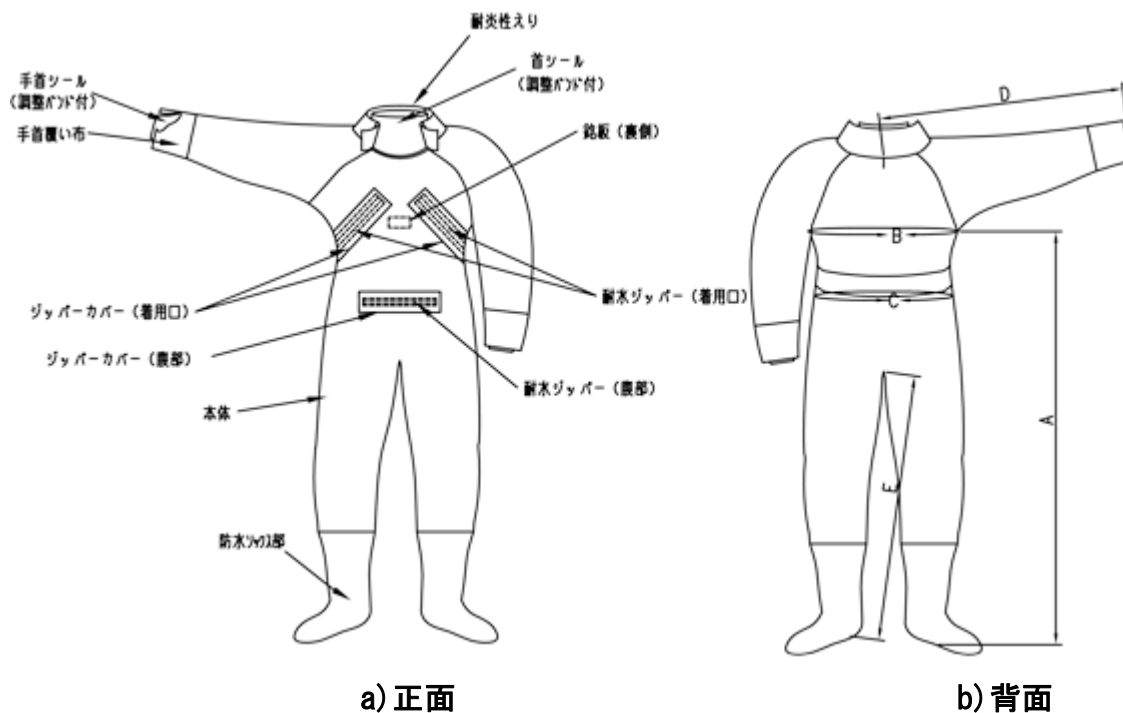
単位 cm

記号	部位	許容差	サイズ									
			LW	LR	LN	MW	MRW	MR	MN	SW	SR	SN
A	脇丈	±3	160	160	160	150	150	150	150	142	142	142
B	胸囲	±2	120	113	107	120	113	107	100	113	107	100
C	胴囲	±2	112	104	96	112	104	96	88	104	96	88
D	ゆき丈	±2	98	96	95	94	93	91	90	89	88	87
E	股下	±2	93	93	93	87	87	87	87	82	82	82

新型耐水服のサイズと着用基準

	LW	LR	LN	MW	MRW	MR	MN	SW	SR	SN
体重 [kg]	85.0～	73.5～	62.0～	85.0～	73.5～	62.0～	50.5～	73.0～	61.5～	50.0～
	96.5	85.0	73.5	96.5	85.0	73.5	62.0	84.5	73.0	61.5
身長 [cm]	179～	179～	179～	169～	169～	169～	169～	158～	158～	158～
	190	190	190	179	179	179	179	169	169	169

付図1 - 新型耐水服



注記 1 防水ソックス部は、新型耐水服本体と一体である。

注記 2 耐炎性襟は、面ファスナで閉鎖する。

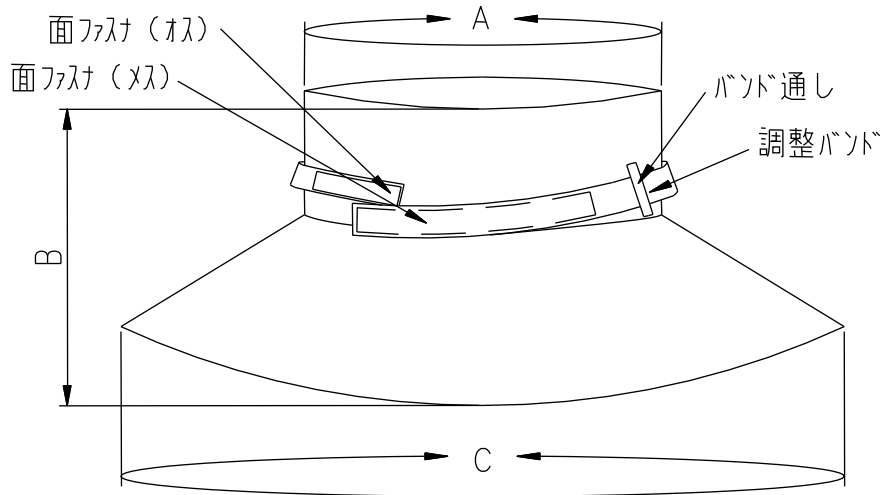
単位 cm

記号	部位	許容差	サイズ	
			SR(W)	SN(W)
A	脇丈	±3	135.5	135.5
B	胸囲	±2	117	112.5
C	胴囲	±2	111.5	107
D	ゆき丈	±2	81.5	81
E	股下	±2	77	77

新型耐水服のサイズと着用基準

	SR(W)	SN(W)
体重 [kg]	54.0～ 62.0	47.0～ 55.0
身長 [cm]	157～ 162	157～ 162

付図 1 A－新型耐水服（女性用）



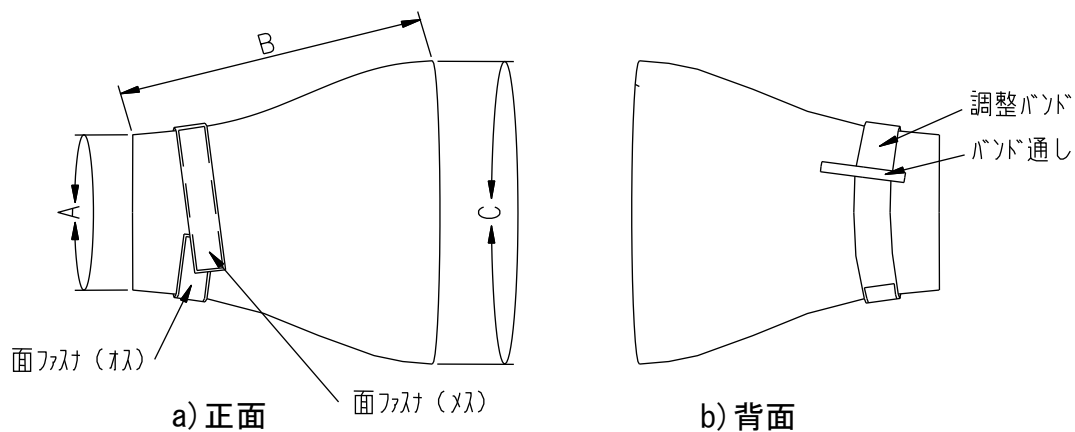
単位 cm

記号	部位	許容差	サイズ						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
A	首周り	±1	46.5	44.5	42.5	40.5	38.5	36.5	36.0
B	長さ	±0.6	18.5						17.5
C	新型耐水服本体との接続部	—	71 (基準)						

首シールのサイズと着用基準

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
頸囲	42.5～	40.5～	38.5～	36.5～	34.5～	32.5～	32.0～
[cm]	44.5	42.5	40.5	38.5	36.5	34.5	34.0

付図2－首シール



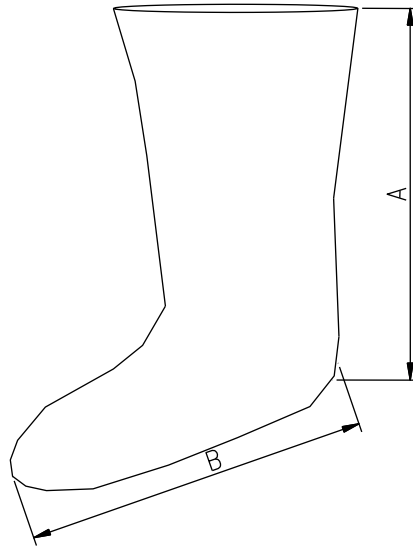
単位 cm

記号	部位	許容差	サイズ				
			A	B	C	D	E
A	手首周り	±0.6	19.2	18.2	17.2	16.2	15.2
B	長さ	±0.6	13				
C	新型耐水服本体との接続部	—	29 (基準)				

手首シールのサイズと着用基準

	A	B	C	D	E
手首囲 [cm]	18.0～19.5	17.0～18.5	16.0～17.5	15.0～16.5	14.0～15.5

付図3－手首シール



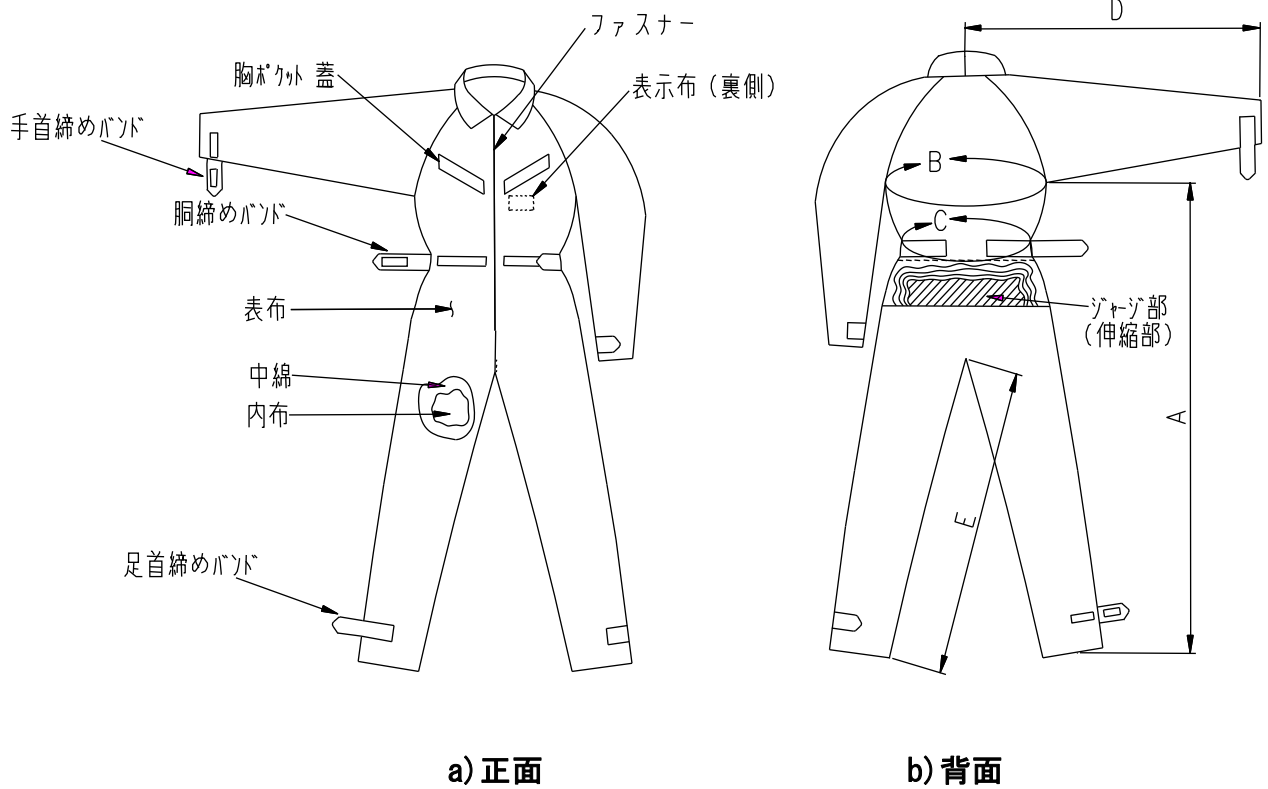
単位 cm

記号	部位	許容差	サイズ				
			I	II	III	IV	V
A	高さ	±1	25				
B	長さ	±1	28	27	26	25	24

防水ソックス部のサイズと着用基準

	I	II	III	IV	V
足長 [cm]	27.1~28.0	26.1~27.0	25.1~26.0	24.1~25.0	23.1~24.0

付図4ー防水ソックス部



a) 正面

b) 背面

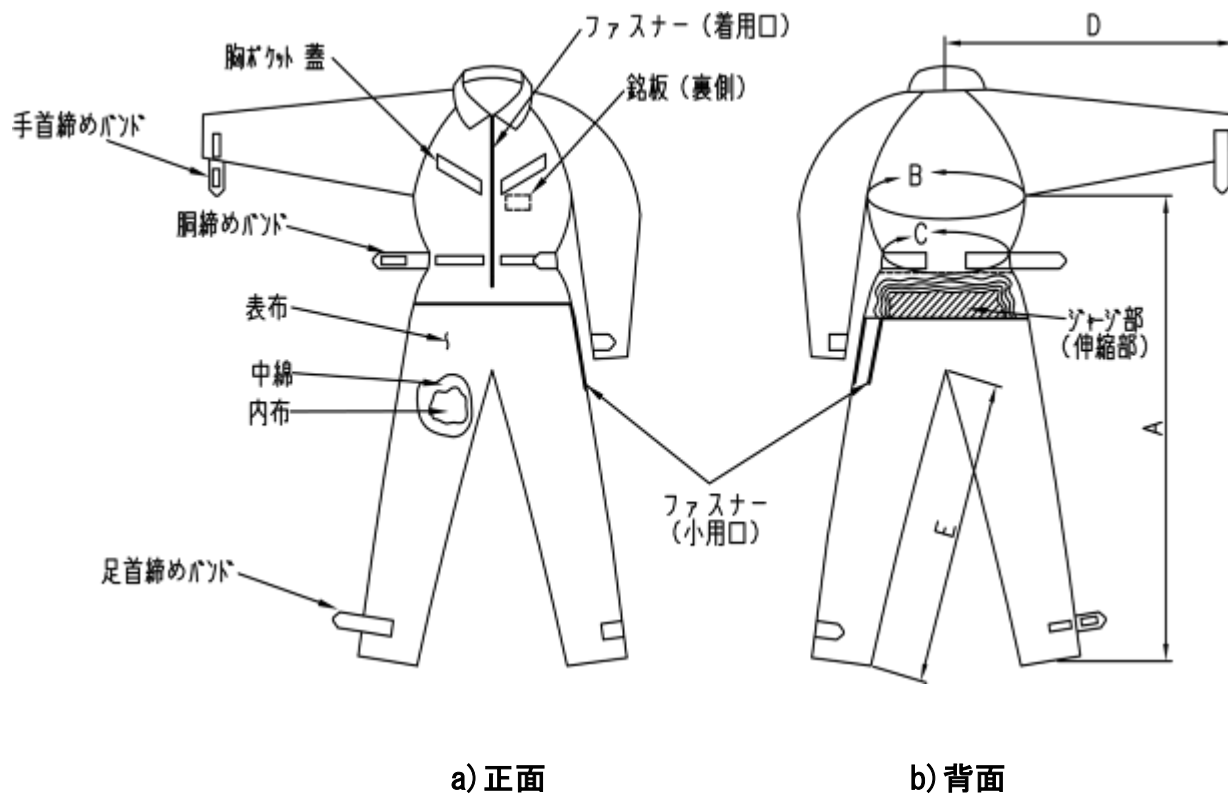
単位 cm

記号	部位	許容差	サイズ									
			LW	LR	LN	MW	MRW	MR	MN	SW	SR	SN
A	脇丈	±3	142.5	142.5	142.5	132.5	132.5	132.5	132.5	124.5	124.5	124.5
B	胸囲	±2	120	113	107	120	113	107	100	113	107	100
C	胴囲	±2	112	104	96	112	104	96	88	104	96	88
D	ゆき丈	±2	89	88	87	85	84	83	82	81	80	78
E	股下	±2	81.5	81.5	81.5	75.5	75.5	75.5	75.5	69.5	69.5	69.5

注記1 寸法は、胴締めバンドを開いた状態での値を示す。

注記2 新型耐寒服のサイズと着用基準は、新型耐水服と同じである。

付図5—新型耐寒服



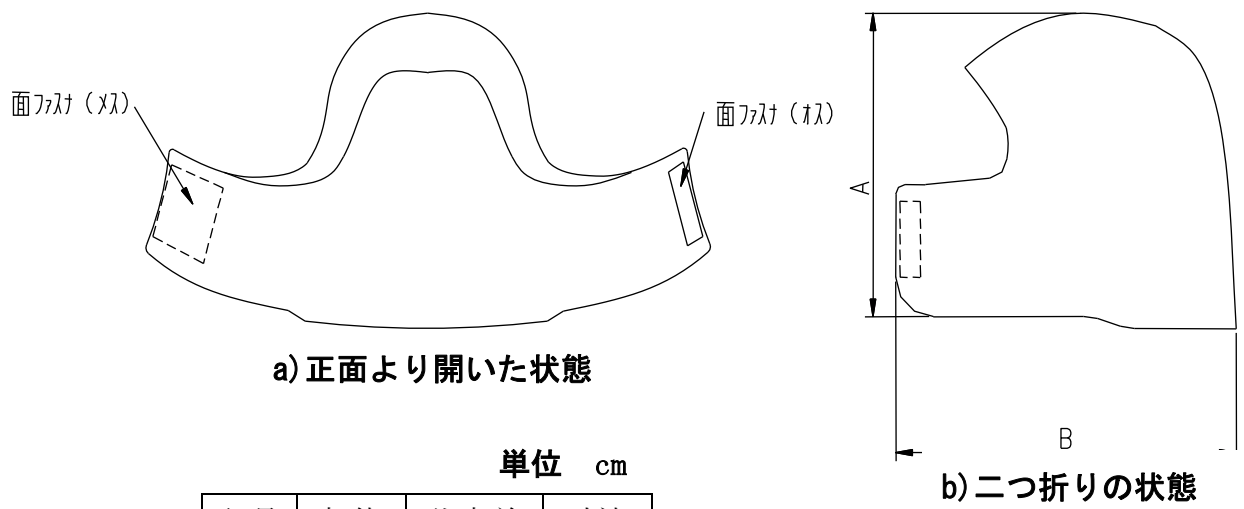
単位 cm

記号	部位	許容差	サイズ	
			SR(W)	SN(W)
A	脇丈	±3	122	122
B	胸囲	±2	108	103.5
C	胴囲	±2	94.5	90
D	ゆき丈	±2	72.5	72
E	股下	±2	72	72

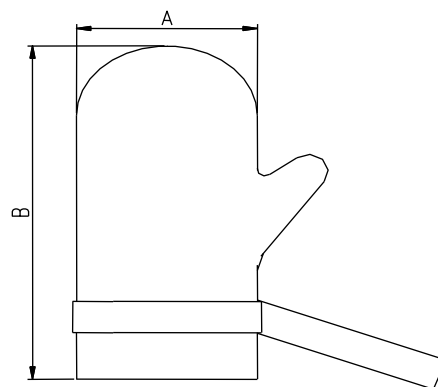
注記 1 寸法は、胴締めバンドを開いた状態での値を示す。

注記 2 新型耐寒服のサイズと着用基準は、新型耐水服と同じである。

付図 5 A - 新型耐寒服 (女性用)



付図6ーフード

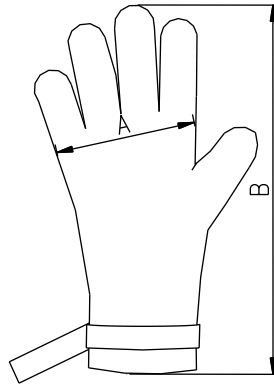


注記 図は左手用手袋を示し、右手用手袋は対称とする。

単位 cm

記号	部位	許容差	寸法
A	幅	±2	18
B	長さ	±2	36

付図7ー手袋 (ミトンタイプ)

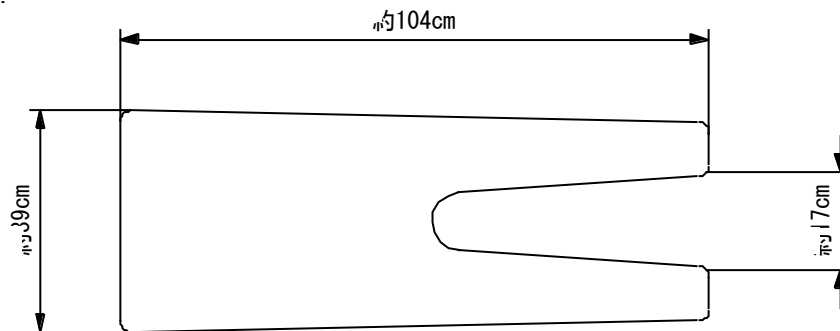


注記 図は左手用手袋を示し，右手用手袋は対称とする

単位 cm

記号	部位	許容差	寸法
A	幅	±2	10.5
B	長さ	±2	27

付図8 一手袋（5本指タイプ）



注記1 ベニヤ板製(板厚約 1.3 cm)で端末は全て面取りを行うこと。

注記2 全面を防水シート，クラフト紙等で覆うこと。

注記3 寸法は，基準を示す。

付図9 パットフレーム